事前評価個表

整理 4 番号 4

事 業 名	水源林造成事業	事業計画期間	R3年度(おおむね80年間)
事業実施地区名	大淀川広域流域	事業実施主体	国立研究開発法人森林研究・整備機構
事業の概要・目的	① 位置等 本対象区域が存在する大淀川広域流域は、宮崎県一円を包括している。年平 均気温は約14℃~18℃、年間降水量は約2,300mm~3,600mmとなっている。		
	地域において、国立研究	開発法人森林研 て森林の造成を	こよっては森林の造成が困難な奥地水源 行究・整備機構と地域の関係者とが分収 と行うことにより、水源涵養機能等を高
	材生産機能だけでなく山 発揮が必要となっている	地災害防止や水 こと、さらにシ j止対策を推進す	等による自然災害が多い地域であり、木 <源涵養機能等森林の公益的機能の高度 <カ害も増大してきていることから、施 「ることが重要となっていることを踏ま いる。
	けて、水源かん養保安林 ・整備機構が分収造林契 しシカ害対策等事業実行 要に応じ、既契約地周辺	内の無立木地等 約に基づき森材 に関する技術指	こおける水源涵養機能等の高度発揮に向 等において、国立研究開発法人森林研究 木整備のための費用負担及び造林者に対 計算を行い、水源林を造成するほか、必 らいて間伐等の森林整備を実施するもの
	期での成林が期待できな 本事業により水源涵養機 等も踏まえて、スギ2,50	い上、降雨等に 能等を高度に発 00本/haの植栽を な林を目指すこと	が繁茂しており、放置したままでは短より土砂流出のおそれもあることから、 経揮させていくため、契約相手方の要望 と予定している。また、広葉樹等の前生 とし、さらにシカ害が見込まれる地域 としている。
		植栽202ha、広季 約地周辺の間伐 崎県	葉樹等育成86ha、 等 1 ha)
費用便益分析	総便益(B)		2, 288, 352 千円
	総費用(C)		889,824 千円
	分析結果(B/C)		2. 57
水源林造成事業評価 技術検討会の意見		策などによる事	k林を造成する必要がある箇所であり、 ≰業の有効性も認められることから、事
評 価 結 果	成する必要があ	あるものの、森林	機能等の高度発揮のため早急に森林を造 林所有者の自助努力等では適正な森林整 業の必要性が認められる。
	ほか、広葉樹等	等の前生樹等を活	する費用を上回る効果が見込まれている 舌用した針広混交林の造成を目指すこと こととしており、事業の効率性が認めら
			軍のために、シカ害対策や針広混交林化 おり、事業の有効性が認められる。

新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視するべき機能(特に水源涵養)に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。

便益集計表

事 業 名 : 水源林造成事業 施工箇所: 大淀川広域流域

宮崎県 (単位:千円)

施工箇所: 人淀川広域流域 (単位:十)				
大 区 分	中 区 分	評価額	備考	
水源涵養便益	洪水防止便益	581,009		
	流域貯水便益	236,300		
	水質浄化便益	851,805		
山地保全便益	土砂流出防止便益	444,903		
	土砂崩壊防止便益	991		
環境保全便益	炭素固定便益	159,065		
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	14,279		
総 便 益 (B)		2,288,352		
総費用(C)		889,824		
		2,288,352		
費用便益比	B÷C=	889,824	- = 2.57	

宮崎県西臼杵郡高千穂町内等 水源林造成事業候補箇所全22箇所

⁽注)便益算定方法は、代表的な箇所(宮崎県西臼杵郡高千穂町)を表示しています。